

箕輪町指定史跡

は ば

もり こ ふん

# 羽場の森古墳第2号

整備復元された「羽場の森古墳第2号」発掘調査の成果



生まれ変わった羽場の森古墳第2号

箕輪町教育委員会

## はじめに

羽場の森古墳は、箕輪町の長岡地籍の西方にあり、3基から構成される群集墳としての形態が残り、現在にいたるまで比較的保存状態もよく、昭和52年に町の貴重な文化遺産として史跡指定されています。

そのなかでも2号古墳は、盛土の一部がなくなり、石室（石を積み上げて造られた遺体を安置する部屋）も露出した状態でした。このままにしておくと、いずれ古墳は完全に壊れてしまうのではないかと判断した箕輪町文化財保護審議会と町教育委員会は、この古墳を後世に残すため、発掘調査を実施して、整備復元をすることになりました。

上空から見た古墳



## ●箕輪町の古墳時代

古墳時代とは、盛土をもった大きな墳墓（古墳）が造られた、およそ3世紀後半から7世紀までの間をさし、日本の国が、近畿地方を中心に中央集権国家として成立していく創生期の時代です。

町内では、福与郷沢遺跡で4世紀前半頃の集落跡が見つかっていますが、古墳が出現するのは6世紀中頃から後半に造られたとされる、松島王墓古墳（上伊那唯一の前方後円墳で長野県指定史跡）が最も古いものといわれています。また、町内には松島王墓古墳を含め現在29基（現存するもの13基）の古墳が確認されていますが、いずれも古墳時代後期（6～7世紀）に属する円墳が主で、そのうち8基が長岡地籍に集中しています。

石室の状況



## ●墳丘と石室

発掘調査の結果、この羽場の森古墳が元々どれくらいの大きさで、どのような方法で造られたのか、そして内部の構造の特徴などがわかつきました。

この古墳は、直径およそ16mで高さがおよそ2.8mほどの、おまんじゅうのような形をした円墳であることがわかりました。そして古墳のすそには、それを囲む溝（周溝）がみつかりました。

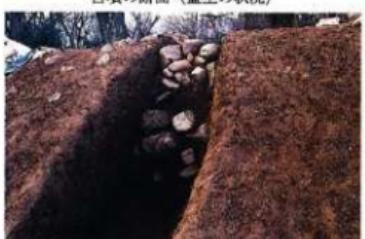
石室は、以前より露出していた石積みの特徴から、南側が出入口となる、横穴式石室（大陸文化の影響による後期古墳特有の石室形態）です。石室の出入口からおよそ3.0mほどの長さの羨道と呼ばれる通路があり、その奥には長さ6.3m・幅1.8mの玄室（遺体埋葬の部屋）が確認されました。部屋の壁は、へん平な大きな石をていねいに積み上げて造られ、天井までの高さがおよそ2.0mはあったのではないかと思われます。しかし、左側の壁の石積みや天井はすぐではなく、石室の中に重さ2.0トン前後の巨大で平らな天井石3枚が落下していました。

そして壁の裏側は、大小さまざまな石で石積みが補強され、その上から数段階にわたり土が盛り上げられて古墳が築かれました。

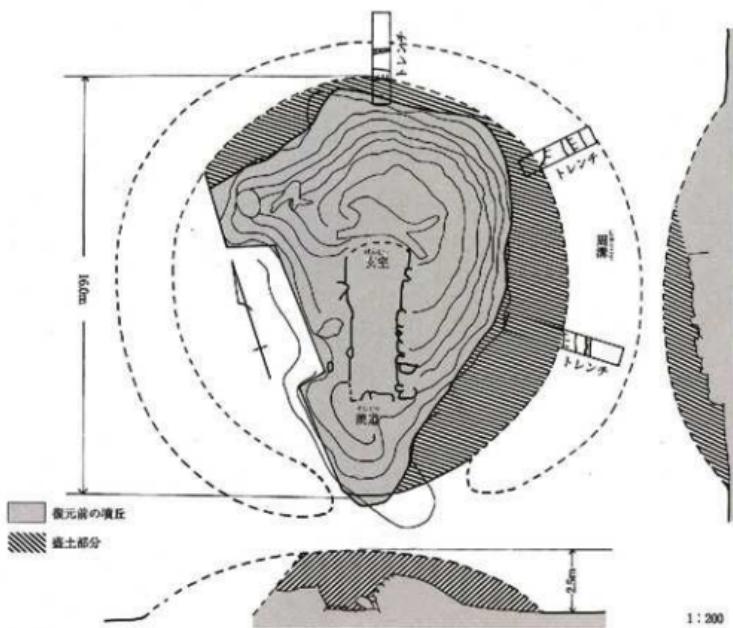
古墳の断面（盛土の状況）

## ●古墳から出土した遺物

今回の調査によって、古墳の玄室の中からは、埋葬者の副葬品として、琥珀の勾玉、青色のガラス製小玉、白玉、算盤玉などの装飾品、銀鏡などの武器類、土師器（野焼きの焼き物）・須恵器（窯で焼かれた堅い焼き物）の壊や高壊などの土器類がみつかりました。過去には、金環（金メッキされたイヤリング）、切子玉、丸玉など



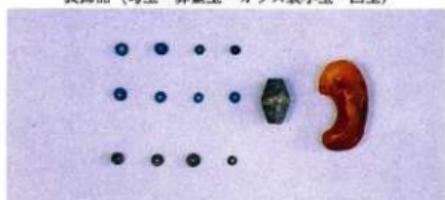
古墳の推定復元図



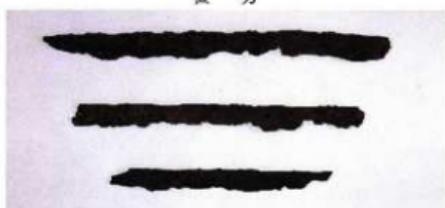
の装飾品や、直刀などの武器類、更に鞍などの乗馬の道具などが出土していました。これらの副葬品は、古墳から運び出された土の中から採集され、箕輪東小学校に大切に保管されていました。

しかし、他の多くの古墳と比べてその量が少ないとから、かなり以前に盜掘されている可能性があります。これらの遺物を総合的に分析した結果、古墳時代後期、およそ6世紀の終わりごろの年代のものと推定することができます。

装飾品 (勾玉・算盤玉・ガラス製小玉・白玉)



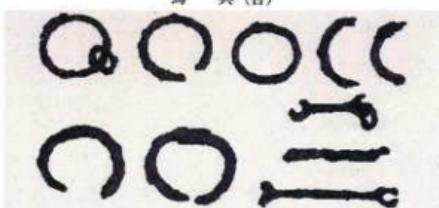
直刀



土師器・須恵器 (壺・高杯・蓋)



馬具(鞍)



## ●生まれ変わった羽場の森古墳

古墳は、今回の発掘調査によって得られたデータをもとに、古墳が造られた当時の大きさと形に近いものへと復元されました。

古墳の上に大きく育った3本の木は、その根が古墳をこわす恐れが考えられることから切り倒しました。石室は、中に砂を入れて、露出した石室の壁の石積みがこれ以上崩れないように埋め戻しをし、その上に土を盛り上げて形を整え、表面の土が崩れないように芝を貼りました。

そして、古墳の周辺にも芝を貼り、春には花の咲くサツキが植えられ、小規模ではありますが史跡公園として環境整備されました。

石室から出土した鉄錐



箕輪町には、今回整備復元されたこの古墳のほかに、同じ長岡地籍の北東部に移転復元された、町内最大の円

墳である源波古墳があります。また、町郷土博物館の前庭には、三日町上郷で発掘された天王塚古墳が移転復元され、ともに石室の中の様子を自由に見学することができます。

満塗中の古墳で学習する子どもたち



復元された源波古墳



「羽場の森古墳」へのご案内



箕輪町指定史跡

### 羽場の森古墳第2号

整備復元された「羽場の森古墳第2号」発掘調査の成果

平成12年3月31日 印刷・発行

発行所 長野県上伊那郡箕輪町教育委員会  
TEL 0265-70-6603 FAX 0265-79-6368

印刷所 株式会社小松總合印刷  
TEL 036-0111 長野県伊那市大字美篶10243-4